



ゲスト卓話

靴磨きで人生をゆたかに ～足元から山形のまちを盛り上げたい～

SHOE CARE TRAINER 櫻井諭志氏

お気に入りの物を身に着けて出かけるとき、だれしも気持ちが明るくなるのを感じます。さらに、磨きをかけて自信を持った準備で出かければ、それは一日の活力につながるでしょう。「おはようございます」職場での第一声も、きっと周りを明るくできるものになると思うのです。自信をもってきれいにした靴で、多くのみなさまに足元から元気を提供したい、そんな気持ちで靴を磨いております。

前職のガソリンスタンド時代、お客様の車を磨き上げることが好きでした。大変な作業ですし、満足いただけない場合もあります。しかし、仕上がったお車をお渡しすると皆様 本当に笑顔で喜んでくださいました。店長になり、着る機会が増えたスーツに合わせて靴を購入しました。大切に磨くうちに家族や友人の靴も磨

くようになり、この時もたくさんの笑顔にであうことができました。

熱心に磨き上げる喜びと、よりたくさんの笑顔にお会いしたく、大好きな靴の世界に飛び込むこみ、新たな挑戦に取り組んでおります。みなさまぜひ一度靴をお預けください。

靴磨きのポイント

・ほこりを払う

2日も経てばほこりがつきます。ほこりは油分を吸い取り、革を硬化させるだけでなく、カビの原因にもなります。日々のブラッシングが重要です。クリーナーを使って汚れ落とし、水拭きでも水溶性の汚れには効果がありますが、濡らし過ぎるとシミなどのトラブルになります。拭き取り後は必ず栄養クリームで保護してください。

・栄養クリームで革に潤いを

はじめは適度に油分と水分を含んでおりますが、使用するうちに乾燥し、劣化が進んでいく為、抜けた油分や水分を補う必要があります。塗布後ブラッシングをして革の深くまで浸透し柔軟な革に育ちます。

余分なクリームを拭きとることで艶も出てくれます。



DOEK / ズック

2019.SAPHIR SHOE CARE ADVISER 取得

2020.SAPHIR SHOE CARE TRAINER 取得

(フランスAVEL社認定)SAPHIR TOHOKU AMBASSDOR

<https://shoeslife.jp/shoplist/doek/>

Facebook

<https://www.facebook.com/doeksakurai/?ref=bookmarks>

Instagram

<https://www.instagram.com/doek.yamagata/?hl=ja>



靴磨きをする理由と方法

動物の皮は植物タンニンやクロムなどの薬品で鞣され【革】となります。革は加工、着色などをして作られる天然素材です。はじめは適度に油分や水分を含んでおりますが、使用するうちに乾燥し劣化が進んでいく為、靴磨きで抜けた油分や水分を補う必要があります。定期的に履く靴は1ヶ月に一度を目安に。しばらく履いていない靴も乾燥するので半年に一度はお手入れをお勧めします！

履き続けた靴・・・



手入れをしないと革はどんどん乾燥し皺やひび割れの原因となります。表面の埃や汚れは見た目を損なうだけでなく、カビの原因となるので注意！

手入れをしている靴



靴表面の汚れを落とし、乳化性クリームや油性ワックスを使用したお手入れをすることで革へ栄養を補給し、ワックスで作った膜が水の浸入を防ぎ、汚れを落としやすくしてくれます

シューケア

時間 20～30分



①紐を外す



②ほこりを落とす



③クリーナーで拭き取る



⑥余分なクリームを拭き取る



⑤クリームをなじませる



④クリームを塗る

シューシャイン

時間 20～30分



①ワックスを塗る



②水をつけて磨く



③最後は水だけで磨く

シューケアからシューシャインまで約40～60分月に一度がお勧め

今回ご紹介の靴磨きの方法が基本の靴磨きとなります。まずはシューケアから実践してみましよう。
※起毛革やエナメル素材は磨き方がまったく異なりますのでご注意ください。

◎主な紐靴



読み方	
うちはねしき	
英語	
Balmoral	
意味	

ひもで結ぶタイプの靴。外羽根式に対して内羽根式という。はき口がV字型に開き、この部分のはとめ穴に通された靴ひもを締めて履く型式のもの。イギリスでは「オックスフォード」といわれる。バルモラルとは英国スコットランドの城の名で、19世紀中頃アルバート公がこのデザインを用いたといわれている。



読み方	
そとばねしき	
英語	
Blucher	
意味	

ひも(紐)で結ぶタイプの靴。腰革の羽根が外に取り付けられ、はき口が外に開いてひもで締めるタイプの靴。ブラッチャーともいう。1810年、プロシア軍のブラッヘル将軍が軍靴用に考えたことに由来する。これに対し、バルモラル(内羽根式)があり、ひも結び靴の2型式の一つである。イギリスやフランスではそれぞれ「ダービー」、「デルビー」といわれる。

◎デザインから見るTPO

TPO間違ふことなかれ。

革靴を履くシチュエーションには暗黙のルールがある。
これを知らずに勝手気ままな合わせを披露すると、恥をかいてしまうので要注意!

Text/K.Kurinyo 編者兼人 (NO-TECH)

モンクストラップ

バックル留めのストラップで甲を締めるタイプ。アルプス地方の修道士が履いていた靴に由来する。トモ靴よりくだけた印象になり、高級なビジネススタイルの演出に最適。ストラップが2本のダブルモンクも



ブレードツ

1枚革で構成された甲やトゥに縫りが施されない靴の総称。短靴の代名詞であり、ビジネス靴の定番。内羽根式を選べば、ビジネスからフォーマルまで着用可能。ストレートチップとは区別しTPOに対応する



ストレートチップ

トゥキャップの切り替えが一直線に入り、その端正な割割がエレガントなスマートな印象を醸し出す。内羽根式で黒革のストレートチップは、冠婚葬祭の場でもOK。持って歩いて損はないオールラウンダーだ



ウィングチップ

翼を広げたようなW型の切り替えとメダリオンのある靴。英国で狩猟に使われたシューズが発祥とされるため、カジュアルな印象が強い。商事には不向きだが、ビジネスやカジュアルなパーティーなら大丈夫



Uチップ

トゥにU字型の切り替えやステッチが入る。元々、ゴルフの際に履かれた靴を起源とし、各国の革靴に広まっていった変種。機能性や堅牢性を重視して作られることが多く、フォーマル度は高くはないとされる



ローファー

鼻頭はノルウェーの猟師たちの靴。脱ぎ履きが簡単なことから、ローファー(脱げ履)という名が定着。スーツのカジュアルダウンに貢献。カジュアルな革靴の代名詞なので、礼儀に合わせるのはご遠慮願いたい

Formal

Casual

豆知識 革の種類

◎原料皮はたんに原皮ともいい、牛、羊、山羊、豚、馬、鹿等の哺乳類、ワニ、トカゲ等の爬虫類、そしてその他、カンガルーやダチョウ等が用いられます。原料皮はその部位によっても、サイド(背線での半裁) ショルダー(肩部)、バット(背部)、ベリー(腹部)などに分類されます。



1. 牛皮

革製品の大部分は牛皮が使用されています。わが国で使用されている牛皮の多くが輸入されています。牛皮の性質は、大判で厚く、繊維組織が比較的均一で充実していて強度及び耐久性があり、以下のような種類に分けられます。

成牛皮 去勢牛(ステア)

生後3~6か月以内に去勢したオスで、生後2年以上を経たものの皮。厚みが比較的均一しています。

雄牛(ブル)

生後3年以上のオスの成牛の皮。厚手になり、繊維組織の粗さが目立ちます。

雌牛(カウ)

生後2年以上のメスの成牛の皮。ステア、ブルほどの厚みはありません。

中牛皮(キップ)

生後半年以後から1年余りまでのもので、カーフより厚手になり、強度も増します。

子牛皮(カーフ)

生後6か月以内のもので牛皮中のトップクラスです。小判薄手で、キメが細かいのが特長です。

地生(ジナマ)

国内産牛原皮。以前は、生皮のまま取引されたところから、地生と呼ばれるようになりました。一般に牛の飼養管理状態がよいので、輸入原皮と比べて銀面の損傷が少なく、焼き印がないのが特長です。

2. 羊皮

羊皮は種類が多く、皮の性状も多様ですが、ヘアシープとウールシープに大別できます。小羊の皮はラムスキンと言います。

シープスキン

ヘアシープは、強度的に優れているので、ゴルフ手袋や衣類に用います。
ウールシープは、繊維の絡み合いが少なく、体表面と平行に走行し、乳頭層と網様層に二分しやすく、軽くて柔軟ですが、強度は弱めです。

ラムスキン

小羊の皮で、毛皮原料としても良質です。

3. 山羊皮(ヤギ皮)

羊皮より充実した繊維組織を持ち、強くやや硬い。銀面は特有な凹凸をもち耐摩耗性に優れています。
キッドスキンは子山羊皮で、独特の銀面模様を持ち、高級靴の甲革、手袋等に用います。

4. 豚皮 ピッグスキン

国内で自給できる唯一の原皮。組織の部位差が大きく、バット部が密で硬く、均一な柔軟性が得にくい。太い剛毛が裏まで貫き、表面に独特な毛穴の模様が見られます。革となるのは、脂肪の多い網様層が除かれ、凹凸の多い乳頭層のみです。

5. 馬皮

バッグ、小物、靴甲革及び靴裏革などに用いられます。臀(でん)部の網様層は緻密で美しくコードバンと呼ばれる光沢のある硬い層が得られ、ランドセル、ベルト用などに用いられます。

6. その他

鹿皮

軽くて、非常に柔軟なのが特長です。

カンガルー皮

比較的薄く、強度は強いがやや傷が多い。

ダチョウ(オーストリッチ)

羽を抜いた後が丸く突起し、皮の表面に独特な模様があるため珍重されます。

爬虫類(ワニ、トカゲ、ヘビ等)

それぞれ特徴ある銀面模様が珍重されます。